

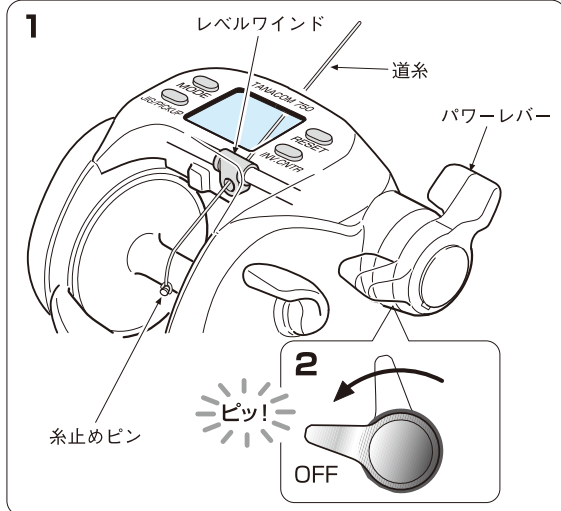
道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
(PE6号-700mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

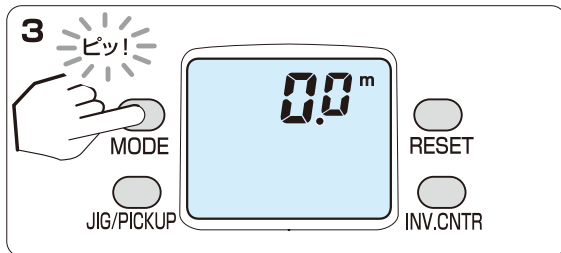
1. 道糸をレベルワインドに通してスプールの に結んでください。

- ※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. パワーレバーを手前に戻します。



3. リールを通电させ表示が **0.0** のときに MODE スイッチを5秒間押し続けてく ださい。

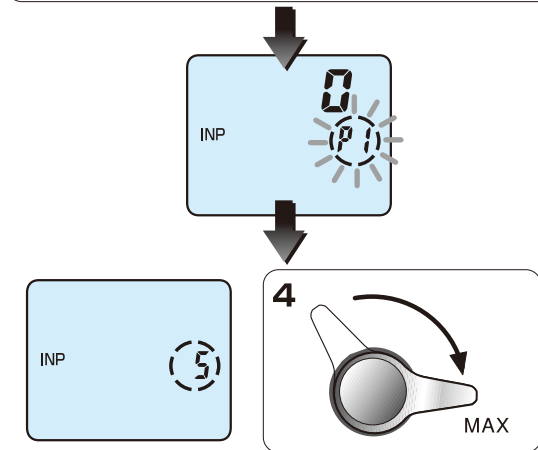


右図のような表示に変わり **P1** が点滅します。

- ※ドラグがゆるんでいると糸が巻けませんので、しっかりとドラグを締め込んでください。

4. パワーレバーをMAXの位置まで倒して 道糸を巻きます。

パワーレバーを倒すと **P1** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。
パネル左下の数字が5~7になるようにテンションを調整して巻いてください。

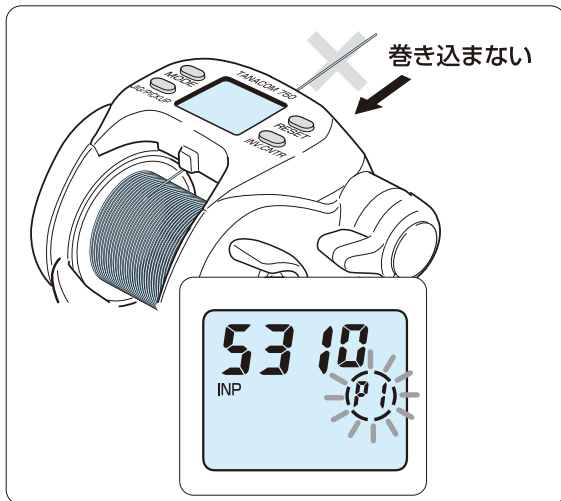
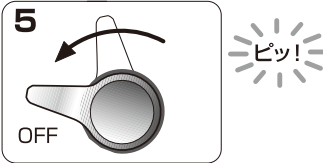


- ・パーミングプレートに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(15分以上)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。もし停止した場合は、手巻きで巻くか、パワーレバーを一度手前に戻してからMAX側に倒せば再度巻上げられ、入力可能です。
- ・PEライン専用となっております。ナイロン・フロロはスプール破損の恐れがありますので、ご使用できません。

5. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)

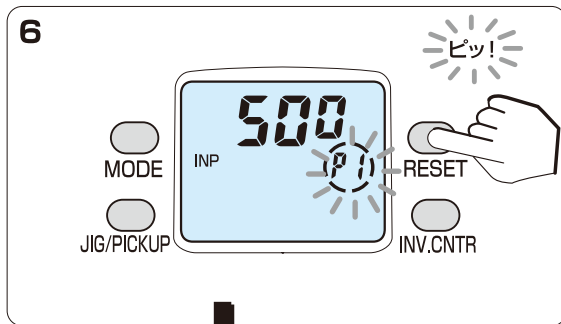
! 注意

・糸の端を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。



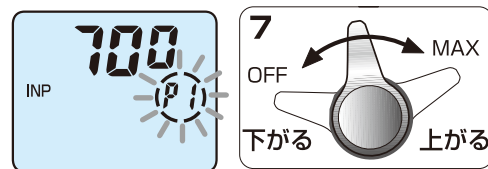
6. **RESET** スイッチを2秒以上、表示が **500** になるまで押してください。

(500は初期値です。)



7. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

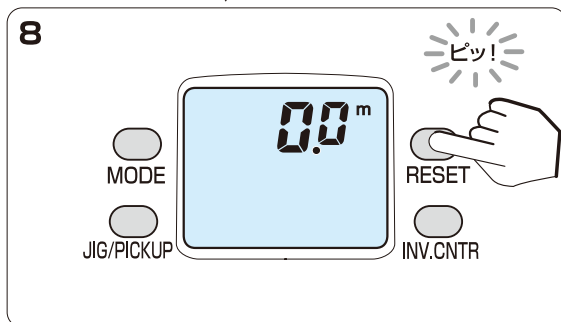
(図は、700m入力した場合です。)



8. **RESET** スイッチを2秒以上押してください。

アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。

※ **Err** になった場合は、**MODE** スイッチを押して初めから再度入力をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力-1」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 下巻をレベルワインドに通してスプールに結び、通电させてください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

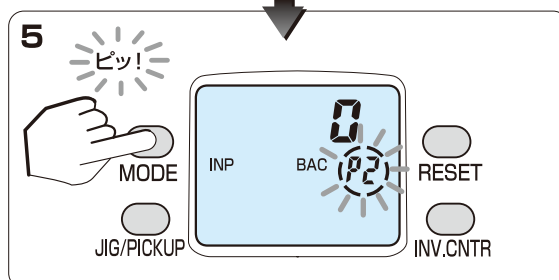
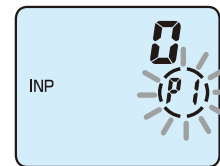
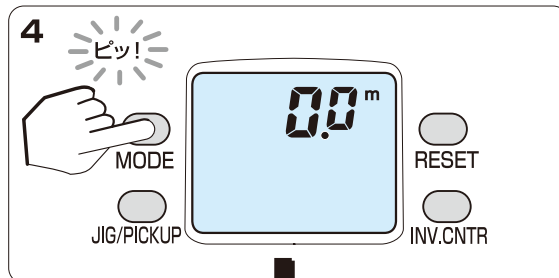
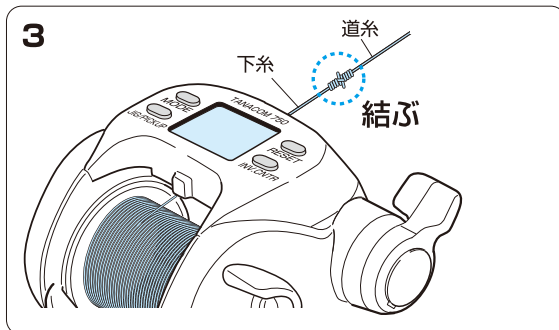
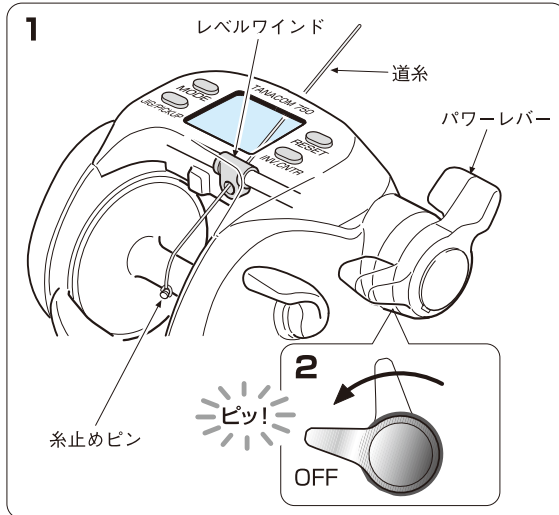
3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに **MODE** スイッチを5秒間押し続けてください。

P1 が点滅します。

5. **MODE** スイッチを押して下巻き入力1の画面にしてください。

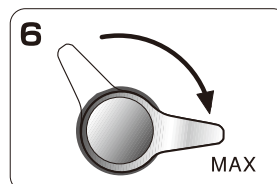
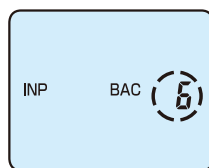
P2 が点滅します。



6. テンションをかけて残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。

パネル左下の数字が5~7になるようにテンションを調整してください。

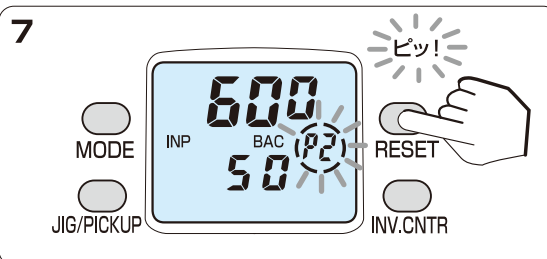


注意

- ・パーミングプレートに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(15分以上)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ごさいません。もし停止した場合は、手巻きで巻くか、パワーレバーを一度手前に戻してからMAX側に倒せば再度巻上げられ、入力可能です。
- ・PEライン専用となっております。ナイロン・フロロはスプール破損の恐れがありますので、ご使用できません。

7. RESET スイッチを2秒以上押ししてください。

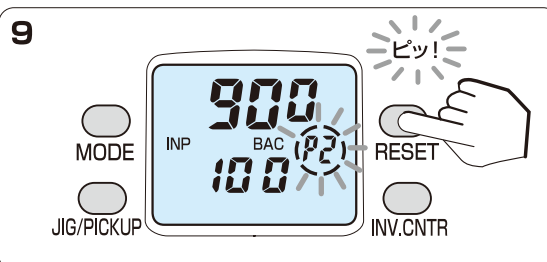
P2 が点滅し、下のカウンターが **50** になります。上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。



8. テンションをかけて糸色に注意しながら50mを巻いてください。

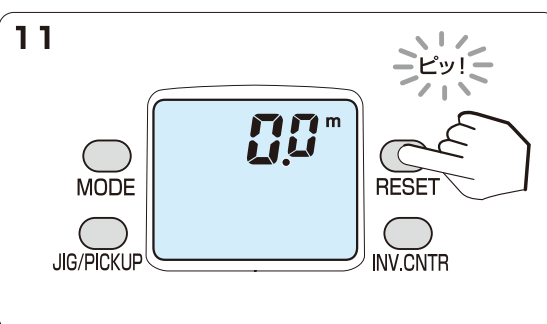
9. RESET スイッチを2秒以上押しください。

下の数字が **100** になります。



10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。

11. RESET スイッチを2秒以上押しして表示が **0.0** m になり完了です。



注意

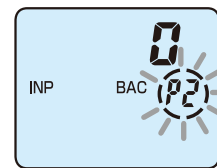
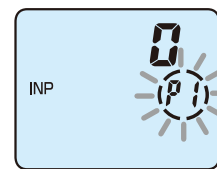
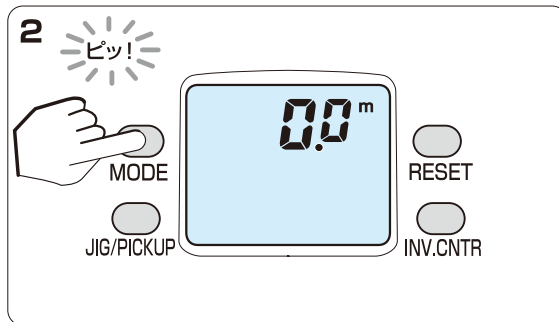
- ・糸の端を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。

※ **Err** になった場合は、**MODE** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。

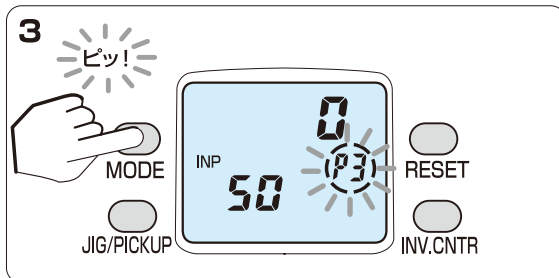
道糸入力方法「下巻き入力-2」

道糸を巻き終わった状態から再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 通电させてください。
2. **MODE** スイッチを5秒以上押して **P1** が点滅します。



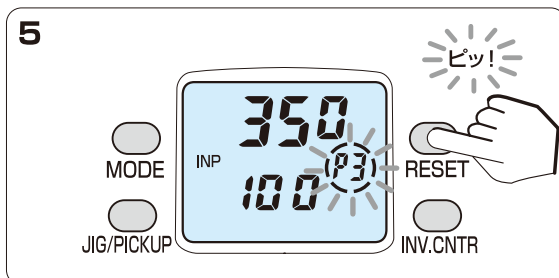
3. さらに **MODE** スイッチを2回押して、下巻き入力2の画面にしてください。
P3 が点滅します。



4. 糸のマークに注意しながら、50m引き出します。

5. **RESET** スイッチを2秒以上押ししてください。

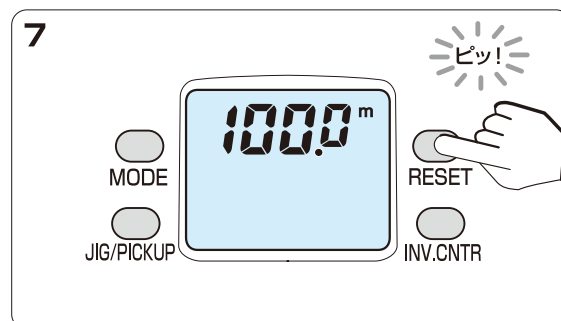
下の数字が **100** になります。



6. さらに糸のマークに注意しながら50m
引き出してください。

7. **RESET** スイッチを2秒以上押して表示
が **100.0** mになります。

8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・この入力方法で入力した場合は100mを超える範囲では、糸長を表示しない場合があります。
- ・PEライン専用となっております。ナイロン・フロロはスプール破損の恐れがありますので、ご使用できません。

※ **Err** になった場合は、**MODE** スイッチを押して
始めから再度入力をしてください。